

沖 縄

沖縄の景気は、個人消費が好調、観光が回復するなど、好調。

個人消費は、食料品や衣料品を中心にスーパー販売が減少したものの、催事や歳暮関連を中心に百貨店販売が増加し、乗用車販売も増加するなど、好調。住宅建築は、持家、貸家、分譲住宅いずれも減少するなど、増勢鈍化。設備投資は、建築着工床面積が増加するなど、堅調。公共工事は、市町村が増加したものの、国、独立行政法人等、県が減少するなど、増勢鈍化。輸出は、金属鉱・くず、輸送用機器、再輸出品が減少するなど、弱含み。

生産活動は、化学、石油製品、鉄鋼が増加したものの、食料品、窯業・土石製品、金属製品が減少するなど、横這い。観光は、国内客・外国客ともに増加するなど、回復。雇用は、有効求人倍率が高水準で推移し、完全失業率が低下するなど、改善。

先行きは、好調が続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								